

# ドクゼリ

*Cicuta virosa* L.  
セリ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】－

## 選定理由

既知の生育地点は1箇所である。前回の調査以降も確認されているが、県内での生育地が限られており、生育基盤が脆弱なため、県域絶滅危惧Ⅱ類とした。

## 分布

北海道～九州に分布。県内では敦賀市で確認されている。

## 種の特徴

湿原に生える水生植物。地下茎は太く、節間部は中空。茎は中空で、高さ約1mになる。葉は柄があり、2～3回羽状複葉で、小葉は長楕円状披針形で鋸歯があり、長さ3～8cm、幅5～20mm。6～7月頃、多くの花序を出して白花を開く。

## 生育を脅かす要因

生育地である湿地の乾燥化。植生遷移での大型の植物が増加すること等による生育環境の悪化。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、福井県植物研究会（1997）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
						○											

# ミヤマセンキュウ

*Conioselinum chinense* (L.) Britton, Sterns et Poggenb. var. *chinense*  
セリ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：－

【環境省カテゴリー】－

## 選定理由

既知の生育地点は4箇所である。前回の調査では取り上げられなかったが、県内での生育地が亜高山に限られているため、県域絶滅危惧Ⅱ類とした。

## 分布

北海道～本州（中部地方以北）に分布。県内では、大野市で確認されている。

## 種の特徴

高山、亜高山に生える多年草。茎は高さ40～80cmになり、中空。葉は、2～3回3出複葉で、小葉や裂片は深く切れ込む。葉の羽片の先は細まって尾状に伸びる。8～9月頃、直径6～10cmの複散形花序をつける。

## 生育を脅かす要因

生育地である亜高山の植生の変化。温暖化による生育地の減少。登山道整備への注意が必要である。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

# タカネイブキボウフウ

*Libanotis ugoensis* (Koidz.) Kitag. var. *alpicola* (Kitag.) T.Yamaz. f. *alpicola* (Kitag.) T.Yamaz.  
セリ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：－

【環境省カテゴリー】－

## 選定理由

既知の生育地点は2箇所である。前回の調査では取り上げられなかったが、県内での生育地が亜高山に限られているため、県域絶滅危惧Ⅱ類とした。

## 分布

本州（中部地方）の高山帯に分布。県内では、大野市で確認されている。

## 種の特徴

高山、亜高山に生える多年草。茎は高さ10～70cm。側枝は小枝を出さず、放射状に広がる。葉は大きく、裂片は糸状で長い。頂生花序が最も大きく、直径10cm。頂生花序の花は白く、側生果序の花は紅色をなすが、全花序の花が紅色の場合もある。

## 生育を脅かす要因

生育地である亜高山の植生の変化。温暖化による生育地の減少。登山道整備への注意が必要である。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	